

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 (プレイヤーコース)											
アンサンブル3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田、西川、小澤、二村			実務 経験	有	職種	演奏者、バンドマスター、バンドアレンジ				
授業概要											
演奏者として、バンドアンサンブルを成立させるためには、各楽器の基礎演奏フォーム、各ジャンルの演奏スタイルを身につけることが必須で団。本授業では課題曲を通してバンドアンサンブルに必要な知識、スキル、コツを学び、それらをオリジナル曲のバンド演奏に活用していきます。											
到達目標											
リードシート、デモ音源をもとに、良いリズム、良い音色で、まとまりと抑揚のあるバンドアンサンブルを成立させる演奏ができる。団オリジナル曲において的確なバンドアレンジ、アンサンブル構築ができることを目標とします。											
授業方法											
課題曲のリードシート、デモ音源をもとにバンドアンサンブルを作り上げてゆく。適宜ボーカルコース学生、1年生や講師が加わり、なるべく多くの人と一緒に演奏する中でスキルやコツを学ぶ。可能な学生(バンド)から、オリジナル曲演奏に移行する。定期的に授業内での発表会、ライブ配信もおこなう。											
成績評価方法											
試験20%試験と課題を総合的に評価する。実技30%毎回の授業時間内でのインプロヴィゼーション力を評価する。成果発表(口頭・実技)30%授業時間内に行われる発表を客観的に見て評価する。平常点20%出席、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
課題曲の予習が必要となります。積極的にバンドの自主練習もおこなってください。楽器(チューナー、シールド含め)を持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
配布リードシート											
回数	授業計画										
第1回	「ええねん」(ウルフルズ)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。										
第2回	「ええねん」(ウルフルズ)を講師を交え演奏する。基本的なロックバンドサウンドのアンサンブルを習得する。並行してオリジナル曲も扱う。										
第3回	「ええねん」(ウルフルズ)を講師、ボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げるができる。並行してオリジナル曲も扱う。										

## アンサンブル3

第4回	「何度でも」(ドリカム)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第5回	「何度でも」(ドリカム)を講師を交え演奏する。基本的なJ-Popのコード進行を習得する。並行してオリジナル曲も扱う。
第6回	「何度でも」(ドリカム)を講師、ボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げることができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第7回	「歩いて帰ろう」(斉藤和義)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第8回	「歩いて帰ろう」(斉藤和義)を演奏する。やや特殊なモータウンビートを習得する。並行してオリジナル曲も扱う。
第9回	「歩いて帰ろう」(斉藤和義)を講師、ボーカルコース学生を交え演奏し、アンサンブルを仕上げることができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第10回	「ハピネス」(AI)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第11回	「ハピネス」(AI)を演奏する。R&Bグループ、同期演奏のコツを習得する。並行してオリジナル曲も扱う。
第12回	「ハピネス」(AI)をボーカルコース学生を交え同期演奏し、アンサンブルを仕上げることができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第13回	「whereveryouare」(ONEOKROCK)を課題曲とし、リードシートをもとに楽曲分析、演奏のアプローチの習得。並行してオリジナル曲も扱う。
第14回	「whereveryouare」(ONEOKROCK)をボーカルコース学生を交え演奏しアンサンブルを仕上げることができる。並行してオリジナル曲も扱う。
第15回	前期内容の授業内発表会をボーカルコース学生とともにこなう。